



理事長のロールプロファイルを策定 上位概念を言語化し組織マネジメントに貢献

【ロールプロファイルを策定】

「主要な役割・タスク・遂行責任」

- (1) 経営リーダーシップ (対外)
- (2) 経営リーダーシップ (対内)
- (3) 環境の整備
- (4) 運営の管理
- (5) 専門性
- (6) コンピテンシー

の大項目を6つ設定しました。

それぞれ、中項目、定義、備考に詳細を記載し具体的に落とし込みました。項目ごとの成果指標を設け、日々の行動にどのように反映させていけばよいか明確に示しています。

<例>

大分類: (4) 運営の管理

中項目: 4 リスクの管理

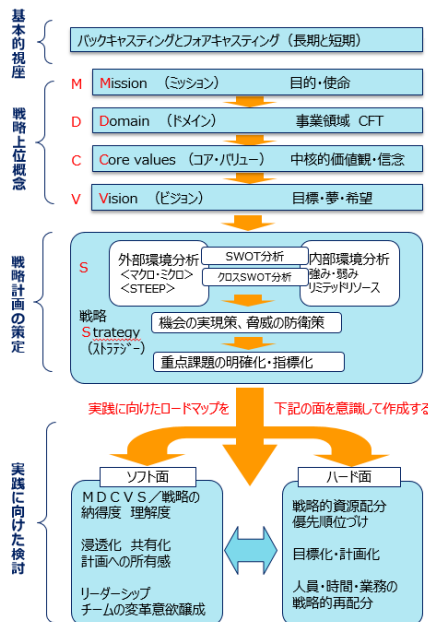
定義: 起こりうるリスクを把握し、予防と対応の体制が整っている

備考: リスクの一覧表作成

成果指標: 保育園ごとのエラー件数

【言語化コーチング】

以下のフレームワークを用いて
経営上位概念を整理し言語化



【上位概念の言語化】

<Vision>

(2040年の目指す姿)

誰もが繋がり、
助け合う社会を創る

<Mission>

(社会における存在意義)

未来を担う子どもたちの生きる力を
を育み、健全な成長を支える

<Value>

(職員が大切に考える考え方)

新しいことへ常に意欲的に挑戦する
変化に柔軟に対応する
共助の中継地点となる

職員へ周知、理念の共有へ

背景

異業種から理事長に就任した近藤様から「同族経営から体制を変えたい」とお問合せいただいたことがきっかけでした。弊社から求める人材のロールプロファイル(求める役割を明確化したもの)の策定をご提案したところ、「まずは理事長のロールプロファイルから作成したい」と要望があり導入が決まりました。

導入

弊社コンサルタントが理事長ほか2名の役職者から聞き取りを行い、意味や定義について丁寧にやりとりを重ねてロールプロファイルを策定しました。作成過程で「理事長の理念が職員に共有できていないのでは」という意見があり、上位概念の言語化コーチングも実施しました。

効果

理事長からは「強み・弱みを把握し場面によって意識的に使い分けができるようになった」と伺いました。役職者からは「明文化されたことで、お互いの仕事の線引きをすることができた」と効果を感じていただけたようです。理事長のロールプロファイルを策定することは、次世代への引継ぎにも有用であると捉えていただいています。



理事長 近藤様

法人として目指したい世界観など、私の考えや理想像などの思いをコンサルの方と話を続ける中で、私の思考、法人の得意分野、今後のステップなどについて、筋立てて内容をまとめていただき、言語や表形式等に可視化していただけたのは、今後の法人運営にとって、非常に強力なツールとなりました。

今後、施設長の役割定義等を可視化する中で、単に業務ベースで考えるだけでなく、より高い視点から検討できるのではないかと期待されます。